

日本共産党

高槻市議員

きよた 純子



ニュース

2026年4月25日

5・6月号 No.146

発行：日本共産党高槻市議員団 きよた純子

連絡先：議員団控室（市役所内）

TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

3月議会一般質問

きよた純子

働く女性支援

今年男女機会均等法が施行されて40年です。しかし、日本は、いまだに女性の賃金は正社員で男性の7割程度にとどまり、包括的なハラスメント禁止も実現していません。

きよた議員は女性相談の内容とその背景について質問、市は「女性が女性であることにより、性暴力等の性的被害により、遭遇しやすいこと。不安定な就労状況や経済困難、

社会的な孤立などの要因が複合的に絡み合っている」と答弁しました。きよた議員は性暴力への対策を強化し、生活支援については、高齢者に家賃助成制度を実施するなど、「女性が安心して暮らせるよう対策強化が必要だ」と訴えました。

不登校の子どもの進路選択

東京都練馬区では、15歳から18歳で、不登校の子どもの対象にした、進路相談、学習支援、保護者相談事業を行っています。きよた議員は「ワンストップで相談ができる相談窓口が高槻市でも必要」と主張。市は「教育センター内に、18歳

までの子どもとその保護者を対象に幅広い相談が可能な相談窓口を設置している。富田春日青少年センターで青少年相談として進路や友人関係、家族の悩みなどについて相談を行い、必要に応じて関係機関等と連携をしている」と答弁しました。

きよた議員は「ワンストップの相談窓口があれば、より支援につながるの検討を」求めました。また、枚方市では知的障害者やひとりでの外出が困難な精神障害者などは、移動支援が利用できます。きよた議員は「通学支援があれば、通学できるといふ子どもの学ぶ権利を保障するべきだ」と訴え、高槻市として発達障害者、精神障害者への通学の移動支援を実施するよう求めました。



Purofiru (3月議会一般質問)

私は保育の学校で、その子に最適な環境と援助を提供することを学びました。大人も子どもも同じく環境に左右され、適切なサポートがないまま大人になり、適応しようと無理をして、うつ病や適応障害を併発する実態があると、市議の仕事をするようになり、より強く感じるようになりました。

これからもこの社会で声をあげたくてもあげられない人の声も含め、政治に声を届けていきたいです。

略歴

1976年（昭和51年）高槻生まれ

キリスト教社会福祉専門学校卒（現：大阪保育福祉専門学校）保育士。枚方市の民間保育園で6年間勤務

市議5期

議会での一般質問（2023年～2025年）

2023年

- 6月議会 特別支援教育。不登校と子どもに寄り添った教育。動物と共に生きる社会
- 9月議会 障害福祉サービス、重度訪問介護。発達障害者への支援。DV被害者支援
- 12月議会 障害のある人が安心して暮らせる施策の充実

2024年

- 3月議会 介護保険改悪と、安心して利用できる介護サービスについて。障害者医療費助成の充実。子どもの教育保障と体制強化
- 6月議会 学校行事としての万博遠足。教科書の採択。単身高齢者への家賃補助制度
- 9月議会 障害者差別解消条例制定。障害者が安心して暮らせる施策の充実
- 12月議会 不登校の子どものケアと支援体制の充実。小中学校のタブレット使用。大阪万博への校外学習

2025年

- 6月議会 精神障害者の権利。包括性教育
- 9月議会 地域共生ステーション（現：たかつき未来パーク）、動物との共生
- 12月議会 障害者の権利を保障する制度の拡充、学校に行けない子どもが安心できる支援

日本共産党の不登校についての提言



日本共産党の働く女性支援についての提言



市長に物価高などへの対策を要望

日本共産党高槻市議員団は4月17日に濱田市長に以下の要望を行いました。

②自衛隊への名簿提供を見送ること

政権与党によって 審査会で、自民党は憲法「戦争国家づくり」が 法9条の改憲や緊急事態条項創設などを示す

し、条文起草の作業に入っていくことを提案しました。防衛省は、地方自治体に個人情報を書いた名簿の提供をすることを圧力を強めています。しかし、埼玉県では2026年度の名簿提供の便宜を図る自治体がゼロになる見込みです。高市政権のもと自衛隊の海外派兵が現実のものとなる中で、高槻市でも自衛官の募集に協力をするべきではありません。今年の個人情報の提供を見送ることを要望します。



①新たな物価対策を実施すること

アメリカ、イスラエルによるイランへの攻撃で、物価高騰に歯止めがかからなくなりました。4月に値上げされる飲食料品は2798品目です。また、ガソリン、ナフサの供給不安で価格が上昇しています。ホルムズ海峡の事実上の封鎖

が続き、停戦合意の先行きが見通せません。市民に対してのさらなる支援をしてください。特に、収入が報酬で決められている施設や医療機関への給付、中小企業や自営業者への支援、市民への給付など要望します。



住民の願い実現にがんばっています

日本共産党はくらし応援の高槻市政へみなさんと力合わせてきました。要望書を提出し、議会質問を通じて求めてきたことなどが実現しています。

高槻市は大阪府で唯一、市バスを運行し、子ども医療費の窓口負担を無料にしています。小学校、中学校の35人学級の実現、給食費の無償化など他の市町村に先駆けて実施しています。

2026年3月議会提案では

- プレミアム付商品券第8弾の発行
- 水道料金の基本料金を6か月分無償化
- 2歳児クラスの保育料無償化
- 高齢者などのごみ出し支援
- 高齢者補聴器購入費補助制度
- 保育士等への奨学金返済補助、3年を10年以内に拡充
- 小学生の市営バス無料化の検討



673-0002 **生活相談 ☆ホットライン** お困りごとはありませんか?
 日時: 6月25日(木) 14:00~15:30 市議員 きよた純子
 当日は電話で相談を受け付けます。電話イラストの上の番号におかけください。